

I 第28週の発生動向 (2014/7/7~7/13)

1. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第26週より**警報**が継続しています。
2. 無菌性髄膜炎については、五所川原保健所管内で第18週より局所的な発生が継続しています。

II 第28週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上 十 三		む っ		青 森 県 計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	(90)	インフルエンザ													-2					
	(79)	RSウイルス感染症													0					
	(80)	咽頭結膜熱				3	0.3				4	1.0	7	0.2	-9					
	(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	0.8	49	4.9			6	1.0	7	1.8	69	1.6	24				
小児科	(82)	感染性胃腸炎	27	3.4	13	1.4	17	1.7	3	0.6	8	1.3	25	6.3	93	2.2	-6		27	3.4
	(83)	水痘	9	1.1			8	0.8	1	0.2	3	0.5	10	2.5	31	0.7	12		9	1.1
	(84)	手足口病	1	0.1	7	0.8	3	0.3	1	0.2					12	0.3	0		1	0.1
	(85)	伝染性紅斑	10	1.3	5	0.6	30	3.0			4	0.7	1	0.3	50	1.2	28		10	1.3
	(86)	突発性発しん	8	1.0	5	0.6	3	0.3	2	0.4	3	0.5	2	0.5	23	0.6	-1		8	1.0
	(87)	百日咳									1	0.2			1	0.0	1			
	(88)	ヘルパンギーナ	1	0.1	19	2.1	19	1.9	1	0.2	4	0.7			44	1.1	16		1	0.1
	(89)	流行性耳下腺炎	3	0.4	3	0.3	2	0.2	1	0.2			1	0.3	10	0.2	-4		3	0.4
	(91)	急性出血性結膜炎														0				
眼科	(92)	流行性角結膜炎	3	1.5	2	0.7	2	1.0			5	2.5			12	1.1	10		3	1.5
基幹	(97)	クラミジア肺炎													0					
	(98)	細菌性髄膜炎									1	1.0	1	0.2	1					
	(100)	マイコプラズマ肺炎					1	1.0					1	1.0	2	0.3	-5			
	(101)	無菌性髄膜炎							7	7.0					7	1.2	-3			
	(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										2	2.0	2	0.3	-1				

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市 2人、八戸 4人 (2014年計:170人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 八戸 1人 (2014年計:2人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、5/20,6/6)・・・ライノウイルスA:弘前(1)、八戸(1)、ライノウイルスC:弘前(1)
- ・下気道炎患者(鼻汁、5/10~6/6)・・・ライノウイルスA:弘前(5)、ライノウイルスC:弘前(2)、ライノウイルスA及びヒトメタニューモウイルス:弘前(1)
- ・不明熱患者(咽頭ぬぐい液、4/2)・・・エコーウイルス6型:八戸(1)
- ・肝機能障害患者(鼻汁、5/8)・・・ライノウイルスA:弘前(1)

感染症の窓

ヘルパンギーナ (五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、主にコクサッキーウイルスA群による夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。2~4日の潜伏期間の後に、突然の38~40℃の発熱が1~3日間続き、全身倦怠感、食欲不振、咽頭痛、嘔吐、四肢痛などがある場合もあります。

咽頭は軽度に発赤し、口蓋から咽頭にかけて1~5mmの小水疱、これから生じた小潰瘍、その周辺に発赤を伴ったものが数個認められます。

本県における昨年の患者報告数は1,376人でしたが年齢別では、特に2歳以下の年齢層が65%を占めていました(図1)。

今年の全国における発生状況は6月から増加していますが、本県においては、全国より遅れて7月から増加傾向にあり、昨年の発生動向(8~9月にピーク形成)と概ね同様の推移が予想され、今後の動向に注意が必要です(図2)。

感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。

予防としては、感染者との密接な接触を避ける、流行時には乳幼児の介護者は特に手洗い、手指の消毒を励行する、などです(【参考】国立感染症研究所感染症情報センター)。

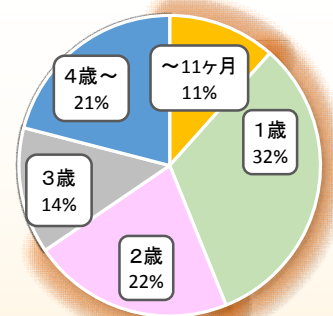


図1 年齢別患者報告数割合 (N=1376) (2013年)

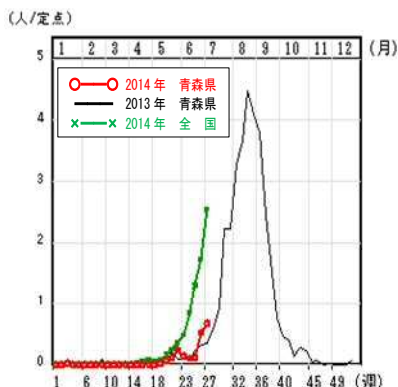


図2 2014年 週別推移

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第12週～第28週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H26.3.17 ~ H26.3.23		アメーバ赤痢1人				
13	H26.3.24 ~ H26.3.30						
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第18週～第28週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
18	H26.4.28 ~ H26.5.4	1		4			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11	1					
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		4	1	1	
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		4			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2014年第1週～第26週累計)

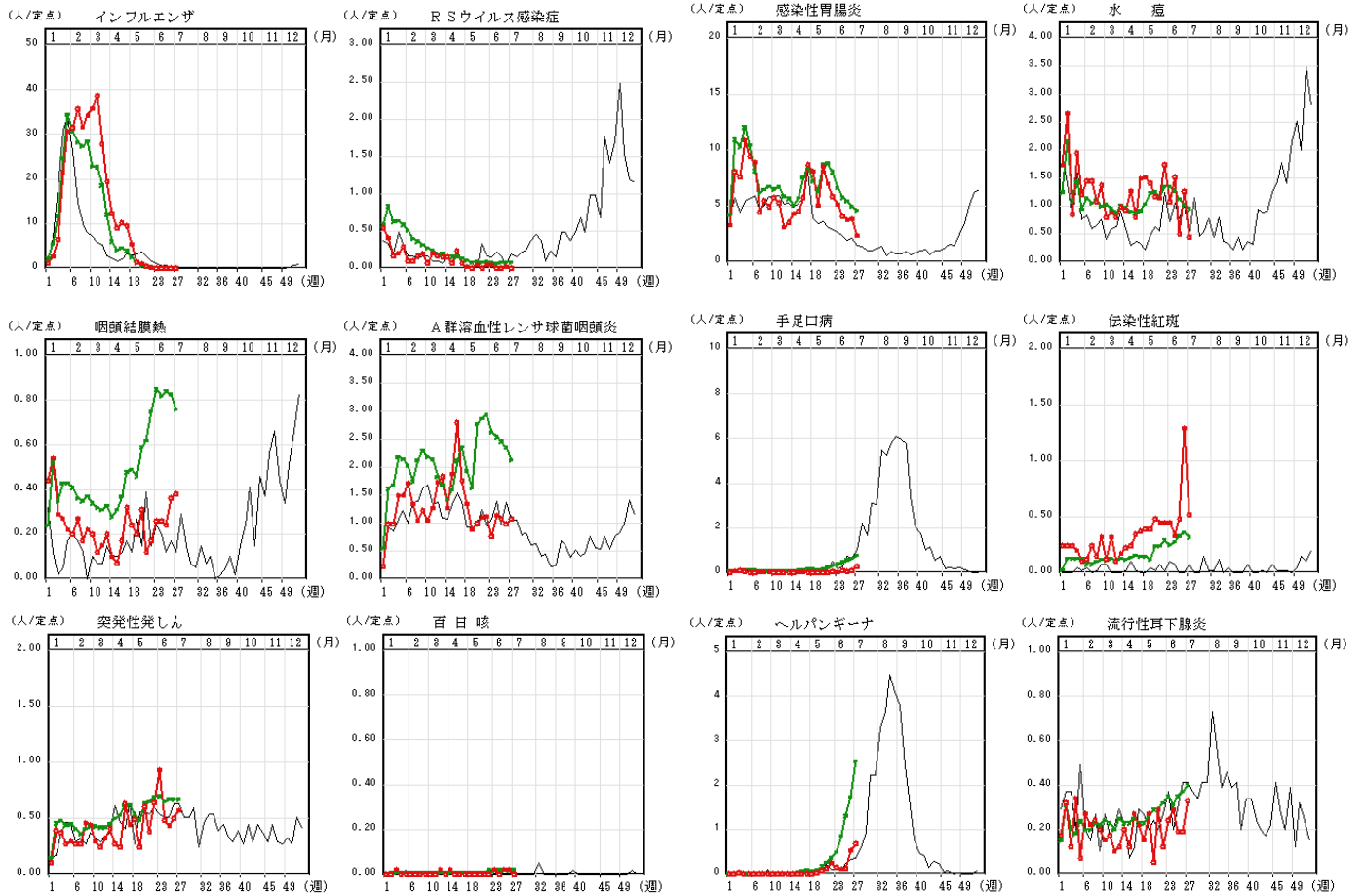
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小症減少症候群	チカングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マリアア	ライム病	
累積報告数	12120	2	49	862	21	8	72	367	6	6	1	1	1	26	6	96	81	56	5	1	27	2	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	499	7	532	131	245	10	79	134	716	33	103	19	1074	8	739	54	27	228	397				

青森県 (2014年第1週～7月14日16:30累計)

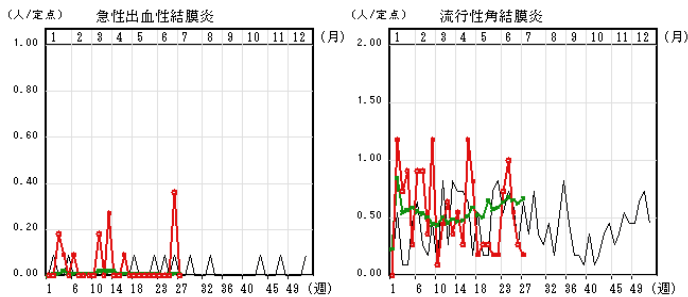
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	
累積報告数	170	2	1	1	10	2	6	8	1	2	1	6	3	1	

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第27週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第27週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第27週)

